

令和元年度 & 令和2年度

水質保全研究助成 成果報告会

参加無料!!

オフィスやご自宅からご参加いただけるオンラインにて開催します。

新型コロナウイルス感染拡大により延期になっていた令和元年度（平成31年度）と令和2年度の『水質保全研究助成』の成果報告会を開催いたします。

- 日時 令和3年3月18日(木) 13時30分～16時30分
- 開催方法 オンライン開催〔Zoomビデオウェビナー〕

報告会へのご参加には、事前に「Zoomウェビナー登録フォーム」経由でのお申し込みが必要です。

》》》 当機構のホームページからお申し込みください。

<http://www.byq.or.jp/>

報告会ページにある『参加申し込みをする』ボタンをクリックして必要事項を入力後『登録』ボタンをクリックしてください。

1. 開会 [13:30]

2. 令和元年度 研究助成 成果報告

時間	研究テーマ	団体及び発表者	研究分野
① 13:35～14:00	湖沼における細菌由来溶存有機物の寄与：鏡像異性体バイオマーカーを用いた定量法の確立	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 研究員 山口 保彦 氏	新たな富栄養化の課題・視点や異臭味の発生に関する調査研究
② 14:00～14:25	臨床領域で対策が求められている薬剤耐性菌の河川環境中における動態	大阪薬科大学大学院 薬学研究科 助教 東 剛志 氏	安全で安心な水のための健康リスクに関する調査研究
③ 14:25～14:50	水道水源における消毒副生成物前駆物質の特定と生成特性の把握	京都大学大学院工学研究科 准教授 越後 信哉 氏	

休憩 (10分)

3. 令和2年度 研究助成 成果報告

時間	研究テーマ	団体及び発表者	研究分野
① 15:00～15:25	琵琶湖底質・湖水間における溶存有機物生産機能の新規評価法の検討	京都工芸繊維大学 准教授 布施 泰朗 氏	流域水環境管理のための水質やその指標に関する調査研究
② 15:25～15:50	淀川流域における残留移動性有機化合物ジフェニルグアニジン (DPG) の存在実態—環境水中 DPG 分析法の確立と濃度分布の把握	大阪市立環境科学研究センター 研究員 市原 真紀子 氏	安全で安心な水のための健康リスクに関する調査研究
③ 15:50～16:15	淀川水系における各種ふん便汚染源追跡指標 (微生物遺伝子マーカー) の調査	地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 主任研究員 肥塚 利江 氏	

4. 講評

時間	内容
16:15～16:30	公益財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構 学術委員長、琵琶湖・淀川水質浄化研究所 所長 津野 洋

5. 閉会 [16:30]

※プログラムは予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

●参加申し込みについて

- 当機構のホームページにある成果報告会参加申し込みのアイコンをクリックして、必要事項を入力し登録してください。
- 登録時に入力したメールアドレスにアクセスURLが届きます。(スパム設定により、こちらからのメールが届かない場合があります。)

●オンラインでの配信についてのご注意

- 音声と映像でお届けするためパソコンにはスピーカー(またはヘッドホン)が必要です。
- 通信環境の混雑状況等によっては、接続が不良となる場合がございます。あらかじめご了承くださいませようお願い申し上げます。